

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 恵友会 児童発達支援センター いちご		
○保護者評価実施期間	7年 12月 5日		7年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	7年 11月 13日		7年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での集団療育の中で、一人ひとりに応じた丁寧な療育を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・常に保育士、児童指導員、言語聴覚士、作業療法士、看護師などが多職種で療育に関わり、他面的な支援ができるよう工夫している。 ・各種専門職の見立てにより個々の発達段階や課題に合わせた個別の療育を実施しながら、職員間で情報を共有し、連携した支援を行っている。 ・月に1回、年長児を対象としたグループ学習の日を設け、就学に向けた活動を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種で連携しながら、さまざまな集団療育の取り組みについて検討する。 ・職員が子ども個々の特性に合わせた適切な支援が行えるよう、今後も必要な研修に参加し資質向上に努めていく。
2	広い園庭で身体をたくさん動かして遊べる。大型遊具がある。夏には大きなプールを入れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・広い園庭でかけっこやドッチボールなど、ルールのある遊びを友だちと楽しむことができる。 ・砂場や滑り台、ボルダリング、鉄棒などがあり、身体を動かした遊びを十分に楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走ったり登ったりなど、楽しく身体を動かしながら友だちとの関わりが増える環境を提供していく。
3	保護者支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育の振り返りを丁寧に行っている。 ・モニタリング時期だけではなく、必要な時にはいつでも個別やライン、電話などで相談できる機会を設けている。 ・懇談会などのイベントを計画し、保護者支援の一貫として実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階や課題、年齢に応じた保護者通園や単独通園、グループ学習、父子通園など、さまざまな形態の療育を提供できるよう検討し取り組んでいく。 ・保護者の悩みや不安に寄り添い、気軽に相談できる関係性を築いていく。 ・今後、兄弟児支援にも取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	初年度による不足点	<ul style="list-style-type: none"> ・開所初年度のため、一日の利用児が少ない日がある。友だちとの関わりによって得られる集団でのプラス面などが生かされない日がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な療育内容や取り組みなどについて地域や関係機関などへ案内し、知名度をあげる取り組みを行っていく。
2	地域の中での交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で交流できる取り組みを検討中であり、現在行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を知って、様々な場所へ訪問したり交流するなど、今後検討しながら取り組む予定となっている。